

新年のごあいさつ

秩父市長 北堀 篤

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい令和7年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、和光市にあります理化学研究所（理研）発のNPO法人VCAADシステム研究会と市内の企業が連携する全国の自治体初の取り組みとして、「秩父理研発NPO組織との先端技術推進プロジェクト」を発足させた年でした。

このプロジェクトを通じて、理研研究者が持つ研究成果と市内企業の技術力をマッチングさせることで、新製品の開発や事業化、先端技術分野への進出を支援したいと考えております。そして、秩父地域の産業をさらに発展させ、将来的には、理研の一部や研究所、研究機関の誘致に結びつけられればと期待しています。

市立病院については、建て替えを決断した年でもありませんでした。

市長就任以降、市立病院の現状を確認したり、市民の皆さまや医療関係者等からさまざまな意見を伺ったことや、施設の老朽化が想像以上に進行していたことや、新たな感染症のほか、今後発生し得る災害への対応を強化する必要があることなどを考慮した結果、改修による対応では根本的な課題解決にならないとの認識に至り、総合的な判断として、建て替えの決断をいたしました。

早期の建て替えが実現できるよう、昨年1月に市立病院建設準備室を設置し、その後、7月に設置した「秩父市立病院建設計画策定委員会」において具体的な協議を開始しております。

将来にわたり秩父地域の中核病院としての機能を果たし続けられるよう、着実に準備を進めてまいります。

いよいよ、本年5月25日に、「第75回全国植樹祭」が秩父ミュージズパークを主会場として開催されます。

埼玉県では、昭和34年に寄居町で開催された「第10回大会」以来、実に66年ぶり2回目の開催となります。

秩父市では、開催機運の醸成を図るため、1年前・200日前を記念したイベントを開催しました。全国植樹祭デザインラッピングバスが市内を走り、各所にリニューアルした横断幕も設置しています。また、商店街の皆さまのご協力により、街路灯フラッグを掲出していただき、さらには、市役所本庁舎に秩父市版カウンタダウンボードを設置するなど、まち全体が植樹祭ムードになってきています。

今後も、各種イベントへの出展・広報、関連企画、100日前に合わせた記念事業などを展開していきます。

現在、県内において、全国植樹祭のシンボルであります「木製地球儀」の巡回展示が行なわれており、63の市町村を巡回しています。秩父市では2月14日から19日の6日間、市役所本庁舎で展示する予定です。お越しの際には、ぜひ、ご覧いただければ幸いです。

開催まで5か月となりましたが、秩父地域1市4町1村が密に連携し、秩父の魅力を全国に伝えられるよう、当日に向けて万全の体制で進めてまいります。

令和3年5月に秩父市長に就任して以来、全国植樹祭主会場を誘致したほか、市民の皆さまの暮らしを守るため、市政運営に全精力を傾注してまいりました。

本年も市民の皆さまを第一に考え、「子どもから高齢者まで、すべての人が笑顔にあふれ、誰もがチャンスをつかめるまち」を目指して、安心・安全な暮らしができるよう、そして、秩父市が発展し、飛躍するために全力で諸課題に取り組んでまいります。

本年が市民の皆さまにとりまして、明るく希望に満ちた幸多き年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



秋の叙勲

長年にわたり各分野で著しくご活躍された方々に贈られる「秋の叙勲」が発表されました。

市内で受章された皆さんをご紹介します。

瑞宝双光章

元公立小学校長
鶴田 文男 氏
(下影森)



鶴田氏は、昭和51年4月から平成25年3月まで37年にわたり、公立中学校教諭、同教頭、公立小・中学校長を務められ、学校教育の振興と教育の充実に尽力されました。

地域とともにある学校を目指した学校経営では、地域住民のボランティア支援を積極的に活用して生徒の学習意欲向上に寄与したほか、学校評議員全体会議、学校関係者評価委員会等の充実に尽力され、保護者や地域住民の声を生かした学校経営を行いました。豊かな識見と卓越した指導力を発揮し、広く地方教育行政の発展と充実に貢献されました。

瑞宝双光章

(危険業務従事者叙勲)

元秩父消防本部消防監
梅澤 茂 氏
(栃谷)



梅澤氏は、昭和49年4月より秩父消防本部消防士を拝命後、消防・救急・救助等さまざまな災害現場活動に従事され、秩父消防本部消防長として平成28年3月に退職するまで42年の長きにわたり消防職員として活躍されました。

この間、常に率先して住民の生命、身体および財産を保護するという消防の使命感に燃え、秩父地域の安全確保に尽力されました。

瑞宝単光章

元秩父市消防団副団長
永田 勝美 氏
(太田)



永田氏は、昭和57年4月に秩父市消防団団員を拝命し、数々の役職を経て、平成18年4月に秩父市消防団副団長に就任されました。

常に地域住民の安心安全を守るという消防の任務を自覚し、研さん努力を惜しまず、積極的に職務遂行に従事し、地域防災のリーダーとしてご活躍されました。平成28年にご退団されるまで、34年余りの長きにわたり、秩父地域の消防防災力向上に貢献されました。

瑞宝単光章

(危険業務従事者叙勲)

元秩父消防本部消防司令
木村 雄一 氏
(荒川白久)



木村氏は、昭和46年4月より秩父消防本部消防士を拝命後、消防・救急・救助等さまざまな災害現場活動に従事され、秩父消防署荒川大滝分署長として平成25年3月に退職するまで42年の長きにわたり消防職員として活躍されました。

この間、常に率先して住民の生命、身体および財産を保護するという消防の使命感に燃え、秩父地域の安全確保に尽力されました。

瑞宝単光章

(危険業務従事者叙勲)

石岡 則男 氏
(上宮地町)



石岡氏は、昭和45年に埼玉県警察に奉職以来、42年の長きにわたり、警察職務に奨励されました。

主に留置管理部門で活躍され、留置施設の運営や、被留置者の処遇や護送など、留置施設の適正な管理運営にご尽力されました。

瑞宝単光章

(危険業務従事者叙勲)

岡島 義雄 氏
(中村町)

岡島氏は、昭和49年に埼玉県警察に奉職以来、38年余の長きにわたり、警察職務に奨励されました。

主に交通部門で活躍され、住民の立場に寄り添い、地域に密着した対応を心掛け、パトロール活動や巡回連絡などを通じて、県内の治安維持にご尽力されました。

令和6年度市政功労者表彰状贈呈

11月7日、歴史文化伝承館において「令和6年度秩父市市政功労者表彰式」が行われ、市政伸展のためご尽力された皆さんの功労をたたえ、市長から表彰状が贈られました。受賞者は次のとおりです。(順不同。敬称略)

自治功労 (地方自治の振興に貢献し功績顕著な方)

加藤登、町田清次、若林章一、新井康夫、加藤昌宏、逸見久良、新田恭一、長橋傑、坂輪博

教育文化功労 (教育・文化の振興に貢献し功績顕著な方)

本間信、堀泰弘、長谷川義朗、田中忠光、深田芳行、中嶋真理、小杉洋子

消防功労 (消防団員として防火等に貢献し功績顕著な方)

浅見高宏、浦島章紘、上田優、関根秀敏、長澤智弥、関田謙一、大河原政人、千島貴大、原田康司、福田武男、玉川真吾、八木孝明、富田浩充、宮下悌、氏家大、新田純一、堀口智司、新井浩貴、強矢恭右

福祉功労 (社会福祉の向上に貢献し功績顕著な方)

内田森芳、原田勢津子、小泉輝行、浅見俊一、植竹隆子、中嶋明美、山中守成、加藤滋

環境衛生功労 (環境衛生の向上に貢献し功績顕著な方)

南明久、田口武正、柴崎收弘

☎秘書課 ☎22-2201

秩父市長選挙の日程

秩父市長選挙の日程が、次のとおり決まりましたので、お知らせします。

告示日 4月13日(日)

投票日 4月20日(日)

秩父市長選挙立候補予定者説明会

とき 2月21日(金)14時30分開始

ところ 本庁舎3階庁議室・会議室

出席者は、立候補予定者を含め2人以内でお願いします。

☎選挙管理委員会 ☎22-8200



職員採用試験(令和8年4月1日採用) 前期試験を実施します!

	実施時期	対象
前期試験 【新設】	5月	令和7年度卒業見込の大学生
後期試験 【例年どおり】	9月	大学生、短大生、高校生 (既卒者・卒業見込者)

※前期試験の詳細は、3月市報・市HP (3月公開)

後期試験の詳細は、7月市報・市HP (7月公開)

にてお知らせします。

☎人事課 ☎22-2207

統計功績者に対する厚生労働大臣表彰



吉村 コトメ氏
(大野原)

吉村氏は、平成14年から68回の統計調査に従事し、特に厚生労働省所管の統計調査に多く従事したことから、長年の功績が認められ表彰されました。

企業版ふるさと納税によるご寄付をいただきました

ご寄付をいただいた企業様をご紹介します。誠にありがとうございました。

Society5.0推進事業のために

▶10月30日、株式会社SPCアセットマネジメント、エスピーシー証券株式会社から

☎先端技術推進課 ☎21-5522

未来のための結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業のために

▶10月30日、株式会社アースダンボールから

▶11月7日、株式会社アガルートから

☎総合政策課 ☎22-2823

多様な企業支援により安定した雇用を創出する事業のために

▶11月19日、株式会社メディアグロースから

☎産業支援課 ☎25-5208

地域振興事業のためにご寄付をいただきました

ご寄付をいただいた企業様をご紹介します。誠にありがとうございました。

▶11月11日、株式会社レゾナック 秩父事業所

☎総合政策課 ☎22-2823

ご寄付ありがとうございました

次の方から、社会福祉のために寄付をいただきました。温かな善意に感謝し、ご紹介します。(令和6年11月)

▶11月6日、秩父歌謡愛好会(強矢信一代表)様から、30,000円

自動車の急発進等に起因する交通事故の発生を防止するため「後付け安全運転支援装置」の設置補助を行います！

補助対象者 次の条件を全て満たす方

- ①市内に住所を有し、設置日現在で満65歳以上の方
- ②非営利かつ自ら使用する自動車に**令和6年4月1日以降**に安全装置を設置した方
- ③有効期限内の自動車の運転免許証を保有している方
- ④市税を滞納していない方

補助対象の自動車 次の条件を全て満たす車両

- ①普通、小型、軽自動車[※]で車検を受けている自家用車（事業用は対象外）
- ②自動車検査証の「使用者の氏名又は名称」の欄に申請者の氏名が記載されていること

補助金額

設置費総額（本体+部品+工賃の総額（消費税込み））の1/2（1,000円未満切り捨て）以内の

額とし、**上限25,000円で1人1台(回)限り**です。
※予算がなくなり次第、受付を終了します。

申請期間

1月6日(月)～3月31日(月)

申請書類

- ①補助金交付申請書兼請求書
- ②自動車検査証（使用者欄が申請者本人）の写し
- ③有効期限内の自動車運転免許証の写し（両面）
- ④設置販売事業者が発行する安全装置名称、設置費、内訳、設置日などが確認できる書類の写し
- ⑤購入・設置費用の支払いが完了したことを証する書類の写し

※①の申請書は、市民生活課および各総合支所窓口
に設置のほか、市HPからもダウンロードできます。

※詳細は市HPをご覧ください。

☎市民生活課 ☎26-1133



皆様のご意見をお寄せください！ ～秩父市パブリックコメントの手続き～ 「秩父市立病院建設基本構想」

計画の内容

市では、老朽化が大きな課題となっている市立病院の建て替えに向けた検討を進めています。その最初の段階として、市立病院建設のための基盤となる基本構想を策定します。

公表時期および意見募集期間

1月7日(火)～2月5日(水)

公表方法

- ・市HPへの掲載

・市立病院、地域医療対策課、吉田・大滝・荒川総合支所市民福祉課での閲覧

意見の提出方法

- ・市立病院、地域医療対策課、吉田・大滝・荒川総合支所市民福祉課の窓口へ文書で提出
- ・市立病院建設準備室へ郵送、
FAX、☎で提出
- ・何でも投書箱へ投函

☎市立病院建設準備室

〒368-8686 熊木町8-15

☎26-7354 FAX25-5236

✉byoin-kensetsu@city.chichibu.lg.jp



皆さんから帰省中の方へ お声かけをお願いします！

人口減少対策調査を行っています！

秩父市を転出され、帰省された方が周りにいらっしゃいましたら、調査への協力の呼びかけをお願いします！

調査の目的

秩父市の人口減少対策の基礎資料とし、今後のまちづくりの参考にします。

調査期間 12月25日(水)～1月20日(月)

調査の対象

秩父市に住んだことがあり、現在は別の市町村にお住まいの方

回答方法

- ・下記QRコードを読み取り、ご回答をお願いします。
- ・回答は匿名で行え、個人を特定できる情報は収集しません。
- ・回答の目安時間は5分程度です。

調査結果について

統計データとして、秩父市の施策を決定する際の参考といたします。

☎総合政策課 ☎22-2823



転出された方の
実際の声を
お聞かせください！

